

## 恵庭岳の火山活動解説資料（令和元年8月）

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気などの表面現象の状況（図1～2）

5日に上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）を実施しました。山頂東側の爆裂火口内には弱い白色噴気が認められており、前回の観測（2017年8月）と比べて、噴気の勢いや量、地熱域の状況に変化はありませんでした。



図1 恵庭岳 周辺図と赤外熱映像及び写真の撮影方向（矢印）

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平29情複、第958号）。

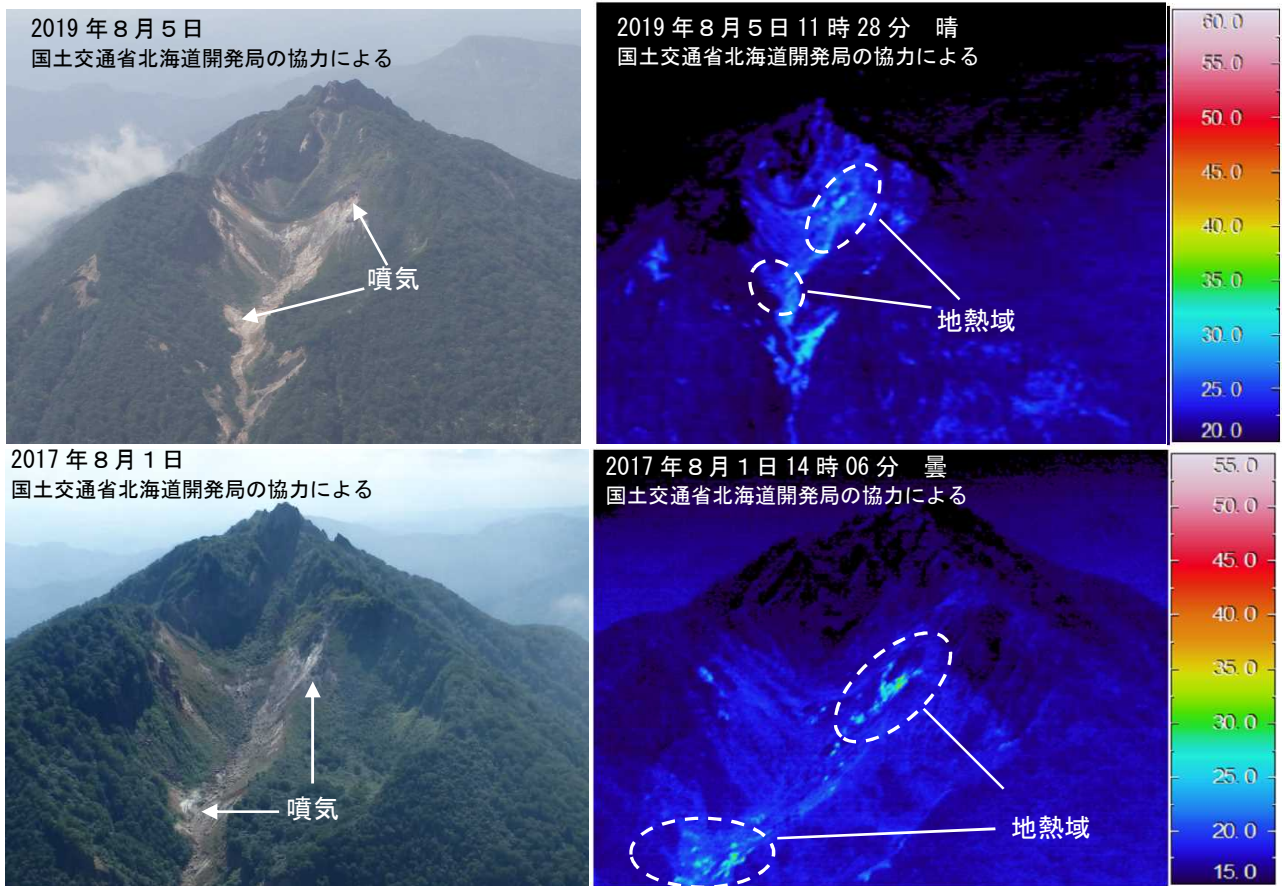


図2 恵庭岳 赤外熱映像装置による恵庭岳山頂東側爆裂火口の地表面温度分布

上図：北東側上空（図1の①）から撮影

下図：北東側上空（図1の②）から撮影

- ・前回の観測（2017年8月）と比べて、噴気や地熱域の状況に特段の変化は認められませんでした。